

2017年
6月15日

発行 日本共産党流山市議団
市議団事務所 7157-16140
議会事務局 7150-16099

今こそ

市民に寄り添う政治を、

国連からプライバシーへ影響の懸念されている共謀罪の強行採決を押し進め、いっぽうで首相による行政の私物化が疑われている森友・加計学園問題にフタをする。安倍自公政権の横暴は歴代政権の中でも飛びぬけています。いま、官僚やメディアの中からも批判が沸き起こり、市民と野党の共闘が草の根で広がっています。日本共産党は、憲法を実現する政治への転換を求めて全力をつくします。

そんな中で行われる6月議会。共産党などの反対にもかかわらず一般質問の持ち時間が一人10分減らされることに。議会の力を自ら弱める暴挙であり強く抗議します。いま流山市ではおおたかの森駅周辺などで人口が急増し、保育園や学校の整備が追い付かない深刻な事態を迎えています。いっぽうで、生活困窮から医療にかかれず死亡する事例も。格差と貧困から市民の暮らしをまもる行政の役割が問われています。日本共産党は、呼び込み型開発優先による市政のゆがみをただし、子育て世代からお年寄りまで、みんなが安心して暮らせる流山市を目指してがんばります。

会期 6月15日～7月5日 21日間

(議案9件、陳情3件、発議4件他)

6月 15日(木) 本会議 午後1時開議
20日(火) ～23日(金)

一般質問 午前10時～

26日(月) 総務委員会
27日(火) 教育福祉委員会
28日(水) 市民経済委員会
29日(木) 都市建設委員会
7月 5日(水) 本会議 午後1時開議
議案・陳情・意見書など採択

一般質問

小田桐たかし議員 6月21日(水) 午前11時頃

1、教育行政について

① おおたかの森駅周辺および隣接地域における小中学校のよりよい教育環境の整備について問う。

ア、小山小と八木北小の学区見直し案について
イ、新設小学校1校という整備方針では全国トップ水準のマンモス校が小山小、八木北小、おおたかの森小、新設小と本市内で相次ぐこととなるが見解を問う

ウ、新設小学校について、今の建設予定地では児童が少ない地域であり、どうしても通学路が長距離になるのではないかと、学区割も大きな問題となるが市の見解を問う等

2、保育行政について

① 保育の待機児と解消策について等

3、ごみ行政について

いぬい紳一郎議員 6月21日(水) 午後1時頃

1、教育行政について

① 「教育勅語を教材にすることを否定しない」との閣議決定について市長及び教育長の見解を問う。

2、国民健康保険について

① H30年度からスタートする国民健康保険の都道府県単位化について問う。

② 民医連の調査によると、昨年も流山市において経済的事由による手遅れ死亡事例が報告されているが、このような事態についてどうとらえているのか。

3、三輪野山地域の水害対策について

4、保健・福祉について

① 自殺対策について

ア、全国で条例制定や取り組みがすすんでいるが、流山市の現状と今後の方向性について問う。

② 成年後見制度の利用促進について

ア、本市における成年後見制度利用の現状と課題について

イ、政府の「成年後見利用促進基本方針」では市町村の役割を明記しているが、流山市としてどう対応していくのか。

徳増きよ子議員 6月21日(水) 午後2時頃

1、教育行政について

① 就学援助について

ア、小学校入学時の「入学準備金」も入学前に実施すべきではないか。

イ、文科省は「入学準備金」を倍増することを通知しているが本市の対応について問う。

ウ、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を対象にすべきではないか。

② 千葉県の高校入試制度の改善について

③ 教職員の多忙化解消について

ア、多忙化解消の取り組みについて

イ、部活動改善のための検討・取り組みについて
2、ぐりーんバスについて

① 東部地域からセントラルパーク方面への運行の進捗状況について

② バス運賃について

植田和子議員 6月21日(水) 午後3時頃

1、憲法9条について市長の見解を問う

① 安倍首相が、憲法9条を2020年までに改正し自衛隊の存在を明文化する考えを公言したことについて、憲法尊重擁護義務を持ち、流山市民を代表する立場にある市長としての見解を問う。

2、新川耕地の巨大物流センター建設の市民生活への影響について

① 計画の全貌について問う。

② 車両通行量の増大と影響について問う。

③ 埼玉県三芳町の倉庫火災からの教訓に基づき、物流センターの火災事故に対する対策について問う。

「加計学園疑惑」
「共謀罪」強行は
許さない！